



九州通産局長賞を
受賞した板戸展示

郡上八幡博覧館

鹿児島市で開かれた全国
建具展示会(全国建具組合
など主催)で、九州通産局
長賞などを受賞した八幡町
吉野の郡上八幡工芸たにぐ
ち(谷口武一代表)の板戸
が同町の郡上八幡博覧館で

展示されてお
り、訪れた観
光客らに好評
を得ている。

展示されて
いるのは同局
長賞受賞の

「間境(まさ
かい)板戸」

と名瀬市長賞
の「千本格子

戸」の各一式

写真。

間境板戸は

座敷と板の間を仕切る建具
で、座敷側はふすま、板の
間側は杉板がそれぞれ張ら
れている。さらに柱側に当
たる板戸の中にす戸が組み
込まれており、引き出すこ
とができる。

夏は風通しの良いす戸、
冬は板戸と使い分けがで
きる仕組み。材質は秋田杉
と木曾ヒノキ、さらにシャ
ーフさを演出する神代杉
が使われている。三人の職
人が手分けして一カ月かけ
て仕上げた。格子戸は障子
戸とのセットで、夏は障子
を外して格子戸だけで使え
る。